

性能面・経済合理性の比較結果公表資料

1 標準準拠システム

システム名	取り扱う標準化対象事務	移行環境
<ul style="list-style-type: none"> ・ 戸籍情報システム ・ 戸籍附票システム 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 戸籍事務 ・ 戸籍附票事務 	富士フィルムシステムサービス株式会社（ベンダー）が提供する戸籍及び戸籍附票システムを稼働させるクラウド環境

2 性能面等の比較結果

【性能面等比較表】

比較項目	ベンダークラウド	ガバメントクラウド
地方公共団体情報システムの非機能要件の標準（以下「非機能要件の標準」という。）に適合していること	○	○
データセンターの物理的所在地が国内であること	日本	日本
情報資産の国外持ち出し制限があること	○	○
ガバメントクラウドとのデータ連携が可能であること	○	-
裁判管轄が国内で契約が日本法に基づくものであること	○	○

3 経済合理性の比較結果

【比較する経費の詳細】

経費A（契約額）	標準準拠システムをベンダークラウドへ移行した場合の経費
経費B（試算額）	標準準拠システムをガバメントクラウドへ移行した場合の経費

【経済合理性比較表】

（単位：円（税抜））

経費区分		経費A （契約額）	経費B （試算額）	差額 （A－B）	
移行時の経費 （イニシャルコスト）	作業費				
	カスタマイズ費	0	0	0	
	環境構築費	12,140,000	15,424,000	▲3,284,000	
	データ移行費	4,580,000	8,580,000	▲4,000,000	
	他システム連携機能構築作業費	960,000	960,000	0	
	操作マニュアル作成・職員研修費	360,000	480,000	▲120,000	
	プロジェクト管理費	0	0	0	
移行時の経費（イニシャルコスト）計		18,040,000	25,444,000	▲7,404,000	
移行後の経費※ （ランニングコスト）	作業費				
	システム運用作業	19,252,800	21,456,000	▲2,203,200	
	ハードウェア保守作業	0	0	0	
	その他外部委託費	0	0	0	
	作業費計		19,252,800	21,456,000	▲2,203,200
	物品費				
	ハードウェア借料	0	0	0	
	ハードウェア保守料	3,009,600	2,784,000	225,600	
	ソフトウェア借料	0	0	0	
	ソフトウェア保守料	0	0	0	
データセンター利用費	0	0	0		
通信回線費	1,296,000	1,200,000	96,000		
クラウド利用料	17,241,600	19,200,000	▲1,958,400		
物品費計		21,547,200	23,184,000	▲1,636,800	
移行後の経費（ランニングコスト）計		40,800,000	44,640,000	▲3,840,000	
合計		58,840,000	70,084,000	▲11,244,000	

※ 移行後の経費（ランニングコスト）は、5年分